

旧遍路道を歩こう



お昼に総合公園を出発し、旧三坂ドライブインに到着しました。そこで、準備体操のあと、坂本屋へ向けてゆっくりと下山します。遍路道の方向は久万方面から松山市に向けて歩くのが順路です。写真のように見つかった植物に名前を貼って歩きました。



道々で講師の松井先生にお話をしてもらいます。下りはじめのところは標高が高く、草花は見られません。スズダケ・ヤブニッケイなど見つかりました。



少し下ると絶景が見られました。天气が良かったので松山平野を綺麗に見ることができました。



↑ヤブツバキ



ヤブコウジ→



↑ユキワリイチゲ

そろそろ咲きそうな感じがありました。



←シヤノヒゲ



←ヤマザクラ

半分ぐらい歩いたでしょうか、ヤマザクラがお遍路さんを迎えてくれます。まだ咲いていませんが4月中頃になれば綺麗にお迎えしてくれると思います。



ちょっと寄り道・・・

遍路道から少しはずれて、人が通らない場所にも行ってみました。そこにはイノシシが土を掘り返した後があり、また落ち葉が何層にも積み重なって柔らかい足場でした。



←ユキワリイチゲ
上の方で見た花は咲いていませんでしたが、この周辺は花が咲く直前のような感じでした。



←ヤマブキ



←ヘビイチゴ

まだ実はありませんでした・・・毒がありそうな名前ですが、食べても毒はありません。味はありません。(おいしくないです)



山も中盤になると坂がゆるくなり、歩くのが楽になります。このあたりは綺麗に間伐されていて、ヒノキの良い香りがしていました。



↑ノアザミ

葉の天ぷらはおいしいです。トゲが葉にあるので、葉が柔らかい時期のものでしっかりと揚げると良いそうです。



↓ムベ

年輪を数えてみると25年ほどです。ということは25年来ずっと山の手入れをされているということです。



間伐されていた木↓



歩いていると緑が多い常緑樹かな？と思ったら、巻き付いている別の種類の葉でそう見えていただけでした。



↑ネズミモチ



↑ヒサカキ

山道も終わりに近づき、コンクリート舗装の道になるころには「ムベ」「ネズミモチ」「ヒサカキ」「アラカシ」などがみつかりました。「ネズミモチ」の由来は、果実がネズミのふんに似て、木がモチノキに類することからきました。「ヒサカキ」は「サカキ」より小さいことから「姫榊」とも、またサカキでないことから「非榊」とも言われます。違いは葉が小さく、ふちがギザギザならヒサカキです。



→アラカシ



←一面のハコベ



↑タチツボスミレ

坂本屋に近づくにつれ、馴染みのある植物が見えてきました。「オオイヌフグリ」帰化植物ですが、いろいろなところで見かけます。「タチツボスミレ」の坪とは道端や庭の意味、身近な所で見られることからツボスミレといえます。「立」は、花の盛りを過ぎると茎がしだいに立ち上がってくるところからだそうです。



フ→グオライヌ

坂本屋に到着し、講師の相原さんに遍路道の事、坂本屋の事を教えていただきました。途中「遍路墓」があったのは昔の行き倒れのお遍路さんのお墓です。お遍路さんは路銀があるので、それで高価なお墓を建ててあげたそうです。また、坂本屋は土日のみ自由に解放しています。休憩がてら、いろいろとお話をいただき、バスに乗り込み総合公園へ戻りました。